

【演目】

『三番叟』 野村万蔵

三番叟は、能の「翁」という演目の一部で、能の発生以前の芸能を取り入れ、神々自然に祈りをこぼす日本古来の神事芸です。前半は、力強くエネルギーに満ち溢れた若者の舞(採ノ段)、後半は、ゆったりとした老人の舞(鈴ノ段)で、鈴を鳴らすことにより万物が喜び、豊かな国になる様子をあらわします。

舞踊『操り三番叟』

猿若清三郎 若柳里次朗

「操り三番叟」は、江戸時代にエンターテインメントとして派生した舞踊作品です。能楽の「三番叟」をモチーフに、三番叟が糸操りの人形となって踊る趣向で、舞踊の技巧を凝りした派手で楽しい演目です。操り糸が絡まるのを直す後見役との息の合った所作も見どころです。

狂言『茸』

野村萬 豊島区民

屋敷内に不気味な「茸」(いさご)が生えて困った家の主は、山伏を呼んで祈禱してもらおうとにします。己の法力を大いに自慢して聞かせる山伏ですが、いざ祈禱し始めると…稽古を重ねた豊島区民も出演します。



のむら まん 野村萬

日本を代表する狂言の第一人者として、1997年人間国宝の名誉を受け、日本藝術院会員、文化功労者、名誉都民。現在も多くの舞台上で活躍する傍ら、後進の育成にも力を注ぐ。公益社団法人日本芸能実演家団体協議会会長。



さる わか せい ぶ 三郎 猿若清三郎

日本舞踊猿若流九世家元。祖父(流祖清方)、父(二代目清方)に師事。古典継承と共に新作や創作舞踊の振付、ワークショップ等も精力的に活動している。芸術選奨文部科学大臣新人賞、文化庁芸術祭優秀賞などを受賞。



のむら まん 蔵 野村万蔵

狂言和泉流野村万蔵家九代目当主。父野村萬(人間国宝)に師事。古典の継承のみならず、異なる分野のアーティストとのコラボレーションも積極的に行なう。ASIAGRAPH2017匠賞を受賞。重要無形文化財総合指定保持者。

【チケット料金】

整理番号付自由席

Sエリア(椅子/雨天時は1階客席) 2,000円
Aエリア(座布団/雨天時は2階客席) 1,000円

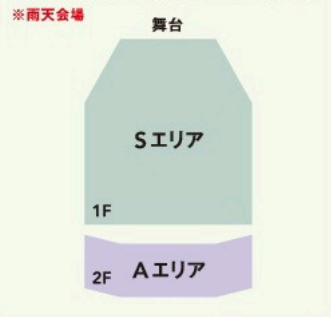
公園内、客席エリア外出入り自由

※開場18:00より、券面に記載の整理番号順に入場開始いたします。
※ビニールシートやマイスの持ち込み不可

【南池袋公園 座席図】



【帝京平成大学沖永記念ホール 座席図】



【会場案内】

南池袋公園(東京都豊島区南池袋2-21-1)

・「池袋駅」(JR線、東武東上線、西武池袋線、東京メトロ) 東口から徒歩5分

◎雨天会場

帝京平成大学沖永記念ホール(東京都豊島区東池袋2-51-4)

・「池袋駅」(JR線、東武東上線、西武池袋線、東京メトロ) 東口から徒歩12分
・「東池袋駅」(東京メトロ有楽町線2番出口)から徒歩10分

【お申込み】 8月5日(日) 10時から

としみチケットセンター (10:00~19:00 休館日除く) Tel. 03-5391-0516

【窓口】 豊島区東池袋4-5-2 ライズアリーナ3階
【オンライン】 <https://www.toshima-mirai.or.jp> (24時間受付)

【主催】豊島区 【企画・制作】公益財団法人としみ未来文化財団 【助成】平成30年度文化庁国際文化芸術発信拠点形成事業(豊島区国際アート・カルチャー都市推進事業)
【お問い合わせ】公益財団法人としみ未来文化財団プランセクション Tel. 03-5390-7118 (平日10:00~17:00)



東アジア文化都市 2019豊島
Culture City of East Asia 2019 Toshima

はらはら、ときどき、文化がいっぱい。

※豊島区は、2019年東アジア文化都市の国内都市に決定しました。2018年中に開催される日中韓文化大臣会合において、正式に決定される予定です。



公益財団法人
としみ未来文化財団

【翌9月24日(月・休)】 北から南までの民俗舞踊が集まる“踊りの祭典” ひとはおどる～日本の民俗舞踊～ 開催!

観覧無料

伝統芸能に染まる格別な一夜を。

南池袋公園に能舞台が出現。